

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる!～



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

雪がちらつくなかでの出初式



通年議会

第5回～第6回会議

年頭のごあいさつ	2
第5～6回内容	3～4
一般質問	5～15
議員活動報告	16～19



年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、素晴らしい年を御迎えになられたことと、あさぎり町議会を代表いたしましてお慶び申し上げます。

昨年は、トランプ関税や地球規模の気候変動に伴う気象現象等で、激動の一年ではなかったかと思えます。

そのような中であって数十年ぶりに生産者米価が上がった事は、農家にとって「一抹の光」とし、希望に繋がったことになりました。それに加え、あさぎり町の米を東京銀座の歌舞伎座のお弁当米に1年間使っていたかどうかということも、千載一遇のチャンスであります。これらの好機を捉えあさぎり町の自然や食を活かした「フードアイランド」推進への提言もできる年になればと思っております。

少子化、人口減少等の課題解消に向け、議会議員一同全力を尽くす所存でございますので、町民の皆様の御指導御鞭撻を願います。

皆様にとりまして、本年が心豊かな年となりますようにお祈り申し上げ御挨拶と致します。

令和八年一月吉日

あさぎり町議会 議長 小見田 和行

第5回会議（10月23日開催）

全議案
全会一致で
可決

1. 一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ951万2千円を追加し、総額134億2,365万6千円とする。

- ・地方創生臨時交付金（不足額給付金240人分）

地方創生臨時交付金により実施する不足額給付事業において、新たに給付対象となる240人分の不足額給付金や口座振込手数料など

税務課

問 地方創生臨時交付金の不足額給付金240人への支払い方法は。

答 今、確認書を発送中。期限が12月20日までなのでその日までには支払いたい。

第6回会議（12月9日～12日開催）

全議案
全会一致で
可決

12月定例会では12月9日から12日までの日程で開催された。一般質問では11人の議員が登壇した。（質問内容はP4～P15）

令和7年度の一般会計・各特別会計の補正予算や条例の一部改正など、条例7件、補正予算7件、契約4件、人事案件1件など計18件を慎重に審議した。

1. 令和7年度 一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ1億823万円を追加し、総額135億3,188万6千円とする。

主なもの

（千円単位切り捨て）

農林振興課	・農林業資材等高騰対策支援（対象者536件）	3,184万円
	・定住促進センター防草シート設置工事	300万円
教育課	・上小学校昇降口防水改修工事	400万円
	・深田内山観音堂保存整備事業補助金	204万円
企画政策課	・町内球磨焼酎蔵元支援（5者へ上限100万円）	500万円
建設課	・環境整備資材等給付事業（住民協働事業）	489万円

▼あさぎり町
5蔵元の焼酎



2. 工事請負契約

主なもの

議案第48・49号 伊賀川河川改修工事（左岸）

令和2年7月豪雨及び台風で被害が発生。氾濫を抑制する河川改修や被災した護岸の補修と堆積した土砂の撤去工事。

- 有限会社 富山産業 7,810万円
- 株式会社 恒松組 7,018万円

齊堂地区排水路改修工事請負変更契約

- 今回変更による増額 837万1,342円
- 変更後 9,274万1,342円

一ノ木谷沈砂地設置工事請負契約の変更

- 今回変更による増額 2,021万2,595円
- 変更後 5,621万5,595円



伊賀川河川改修工事

審議内容の抜粋

▼あさぎり町国民健康保険税
条例の一部を改正する条例の
制定について

健康推進課

問 高度医療や専門の治療に
関しては、熊本市内まで行か
ないと治療が受けられない状
況。同じ保険料負担には、課
題があるのでは。

答 統一制度が出来る段階か
ら医療機関まで、通院の交通
費などの、不平等感があると
の課題が挙げられていた。課
題については十分に熟知して
いるので今後とも話を進めて
いきたい。

問 令和12年の統一を前提
に、あと4年は町の国保特別
会計が続くわけだが、今回の
税率改正後の収支試算の見込
みは。

答 基金については令和9年
度で枯渇すると見込んでいた

が、現在令和11年度において
1億4,000万円程度保有
できると試算。医療費の今後
については人件費や物価高騰
など医療費の増額が見込まれ
ており、試算が難しく減少率
を使い医療費等を試算してい
る。

▼令和7年度あさぎり町一般
会計補正予算第6号

健康推進課

問 口腔ケア等の健康教育謝
礼金が39万1,000円の減
となっている。主な施策の成
果説明書の中でも、歯科健診
の重要さが挙げられているの
で課題等の解決にむけて適進
して欲しい。

答 現在保健師と栄養士で対
応しているが、どうにか歯科
衛生士を確保して事業に繋げ
ていきたい。

企画政策課

問 球磨焼酎蔵元給付金につ
いては10月に人吉市が独自に
取り組まれたと聞いている。
蔵元を守る取り組みである
が、蔵元へあさぎりバージヨ
ンでの支援の考えは。

答 県の振興局から足並み
を揃えては、とあったので基
本原料の加工米に係る部分に
ついて設定した。主食用米を
使った焼酎づくりについては
特に負担が大きいのでこの部
分をプラスして町独自の設定
をした。

農林振興課

問 農林業資材等高騰対策支
援金と農業振興事業補助金と
の仕分けの考え方は。高騰対
策の一時的な単年度事業支援
なのか。

答 農業振興補助金の多く
は、機械や施設の導入。今年
度は、その予算の中で、スマー

ト農業、農業機械利用組合や
作業受託組織の補助金等を考
えて実施している。物価高騰
支援について、次年度につい
ては現在未定。



▼令和7年度あさぎり町下水道
事業会計補正予算第3号

上下水道課

問 量水器検針業務は、ほ
ぼ人件費だと思いが高騰した
りする流動的な人件費につい
て、見積もりの途中で増額や
契約の変更などあるのか。

答 業務請負の形で3年間の
契約となる予定。人件費につ
いては1年目、2年目、3年
目とそれぞれベースアップを
行ったところで積算している
ので、3年間で変更契約
は行わない考え。



畜産振興の維持支援を

かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

2026年4月に球磨の家畜市場が大津町にある県家畜市場に統合される。出荷距離や運搬費用の負担増など生産者への影響が懸念されるが、運搬費補助等を含む支援策の検討状況と町としての取り組み方針は。

町長

畜産振興、資源循環型農業は非常に重要な役割を果たしている。肉用牛の生産地としての維持が課題。

問

今回の質問のきっかけは共進会や市場閉所式の際に聞かれた多くの心配の声だ。

農林振興課長

畜産農家が抱える主な課題は経営コスト。特に飼料価格や労働力不足と高齢化、環境問題への対応だと考える。

問

錦の市場から大津の市場まで、高速道路使用でも約100kmと遠距離になるが、町はどう対応を考えるか。

農林振興課長

規模拡大した県の家畜市場では、取引の活性化により高値の取引に繋がる。運搬の負担はあるが経営の安定も期待される。



錦市場から約100km先の県市場

問

畜産農家が子牛を試行運搬した際ストレスで10kg程痩せてしまったとの声もあった。養豚・赤牛肥育農家は今までも大津や関係市場までそれぞれで運搬されている。全ての畜産農家に対して、しっかりと整合性を図りながらも、移転で新たに発生する負担について配慮や経過的支援が必要では。

町長

支援策については畜協から要望説明を受け、助成を考えていく方向で他町村と協議しながら進めていきたい。

問

人吉市子ども会連合会では、「海の子・山の子交流」がなされている。町内の活動だ

子ども会は地域のつながりや社会性を育む重要な場、育成支援策の拡大を

教育長

球磨郡でも「くまっこリーダー」を開催しリーダー研修を兼ねて体験研修をおこなっている。子ども達の自主活動やリーダー育成の意味でも既存の取り組みについて工夫して周知を図っていきたい。

その他の質問

・流域治水を踏まえた一体的な水系管理を



地域行事への参加

けでなく活動費支援も含め、交流会を計画できないか。

あさぎり駅周辺整備は



もりおか つとむ
森岡 勉 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問

合併20余年が過ぎた。本町の町づくりでは、「人が集い支え合う未来へつなぐ町」に、町民の意識を高め町としての取組む姿勢を明確にして行くことを所信にも述べられている。特に、駅前周辺の開発・整備をどのように進めて行くのか。

町長

駅前については、現在行政と民間事業者による官民連携手法により協議を進めているが、これまでに幾度となく計画の見直しを繰り返し、周辺整備は中途半端な整備になった感がある。
今後、あさぎり町の中心地であり利便性、安全性を図りながら活性化に向けて協議していく。

問

合併後の駅前周辺整備の状況と経緯について。

商工観光課長

商工会でのTMO構想・駅前広場・ロータリー整備・駅前再開発構想において、にぎわいと交流拠点を形成する準備を始めた。その後、基本構想の見直しで諸調査を行い、基本理念が策定された。官民連携事業として、あさぎり駅周辺を民間との地域エリアプラットフォーム組織の構築にむけ話し合い等に取り組んでいる。

問

現在、駅前を活用したイベントの開催状況は。

商工観光課長

毎月のあさぎりマルシェ、夏には駅前ピアガーデン、JA青壮年・青年団・商工青年部によるウインターライトフェスティバルやひなまつりなど駅前施設や広場を活用して開催し、多くの方々で賑わっている。



ポッポ館イルミネーション

問

くま川鉄道が来年夏頃には全線開通する。駅前周辺は用地の確保ができた。旧来の道の駅化構想や石蔵の活用を、商工会・JA・町との三者の連携を深め、協議会を立上げてはどうか。

町長

町の産業の発展も含め、三者での懇談会の設置は可能だと思う。



芝生広場イルミネーション



ヒノキ伐採委託費292万6千円が過剰支出か

みぞぐち みねお
溝口 峰男 議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。



テニスコート横のヒノキ伐採

町長
決算認定において付帯決議をいただいたので今後については処分の際に検証を行っていくと答えた。

問 6年度上総合運動公園周辺のヒノキ約80本伐採委託費を農林振興課の町有林伐採委託費積算資料等を基に検証した。ヒノキ80本約70・52㎡、見直した委託費は67万4千876円であった。過剰と思われる支出は292万6千524円であり町の損失となる。予算の根拠がチェックされていないのではないのか。

皆越地区の将来像は

問 公民分館として使用している旧皆越分校の写真だが、皆越地区の将来をどのようにしたいのか。

町長
現在13世帯と高齢化が進んでいるので、集落の存続も厳しい状況にある。また災害箇所への復旧もままならない状況で皆越地区民には非常に迷惑をかけている。防災の観点からも危険区域というものが全てにかかっている。今後も区民の意見を尊重しながら地域の在り方を考えていきたい。

問 集落支援員の配置はできないか。

総務課長
配置が可能となれば活性化につながると思うが区長さんの意見を伺いながら進めていきたい。



区民による旧皆越分校の奉仕作業

問 旧皆越分校は8年度解体の計画だが、区民は残して避難所・公民分館として使用したいとの要望だが。

教育課長
計画では解体となっているが、令和8年度での解体計画はない。

問 巨大地震時は孤立集落となる。避難所は住民の命を守るために整備すべきではないか。

総務課長
現状の施設を活用するには改修の必要がある。民家の活用も探りながら進めていきたい。

問 道路舗装復旧はいつから始めるのか。

建設課長
8年度・9年度で計画したいと考えている。



その他の質問
• 物価高騰対策は、お米券以外を検討すべき
• くま川鉄道全線開通に合わせ、プレバト番組の絵画・水彩画等の展示を※プレバト
TBS系列で放送されているバラエティ番組

くま川鉄道の全線運行再開に向けて



やまぐち かずゆき
山口 和幸 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧になれます。

問

令和2年7月4日
日の豪雨災害によ

り甚大な被害を受け、全線運休になったが、鉄道での復旧を決め上下分離方式を導入、肥後西村駅から湯前駅間での部分運行を再開しながら、待ちに待った「全線運行再開」が令和8年度上半期に予定されている。

鉄道は観光振興だけでなく、通勤・通学など地域を支える重要な交通手段として、その役割は大きい。そのためには、1市9町村が鉄道事業者と一体となって利用促進を図り、観光振興による交流人口を増やすために東免田駅・あさぎり駅・おかどめ幸福駅周辺の環境整備が必要と考える。全線運行に向けて、思いと期待することは。

町長

豪雨災害からの復旧・

復興のシンボリックなものになると感じ、高校生が減少していく中で、日常的に利用すること、観光面での活性化策を考えていかなければならない。



くま川鉄道（左からおかどめ幸福駅、あさぎり駅、東免田駅）



球磨川第4橋梁の被害を受けた当時の様子と復旧中の橋梁の様子

教育長

田園を支える南稜高校は大事な高校であり、あさぎり町は包括協定を結んでおり、魅力化を共同して進めていく。

企画政策課長

鉄道利用促進を図るための、人吉・球磨の協議会が令和8年1月に設立されるので、協議を重ねていく。

商工観光課長

旧免田町が策定したふるさと創生事業の「花とレールサイド活き活きプラン」から今度は、わくわくするようなプランへと、町民の皆さんと知恵を出しあっていたい。





弓道施設の改修と遠的練習場の増設は

なんば あやみ
難波 文美 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧になれます。



問

本町では過疎化が進行しており地域資源の維持も困難になりつつある。そのような中で町の弓道施設は長年にわたり青少年の育成や生涯スポーツの推進、競技力の向上に大きな役割を果たしてきた。特に町内の弓道団体は、国民スポーツ大会をはじめ数々の競技会においてすぐれた成績を収めており、今や町の誇りとも言える存在である。しかしながら現在の弓道場はかなり老朽化が進んでおり安全性や快適性に多くの課題があるほか、遠的練習場が未整備であるため今後の競技力向上の妨げになることが危惧される。この現状をどのように考えているのか。

教育課長

弓道施設は昭和47年度に建設され築53年が経過している。定期点検は行わないが、要望があった場合に修繕で対応しており、令和6年度は腐食した床の張替えを行った。シャッターや蛍光灯のソケット、防護ネットについては業者に見積りを取り、今後対応していく予定である。



全国レベルで活躍を続ける町内の弓道部選手

問

弓道団体からはこれまで、令和2年2月、令和3年10月、令和5年8月と3回の陳情が上がっており足かけ8年が経過した。武道人口の減少や施設整備後の維持管理コストの懸念もあるが、弓道文化の継承と発信により地域活力の維持と誇りの再構築、若年層の定着と礼節・集中力・継続力の育成、交流人口の増加など効果もある。団体の切なる願いは、シンプルな遠的練習場を整備してほしいということであるが、多種多様な補助金制度を活用し町の財政負担を抑えながら整備に動き出せないのか。

町長

これから新しく整備する施設については人口減少というものを前提に考えることが非常に重要である。これまでの弓道施設の管理状況で、町が整備した場合の使い勝手や東庁舎跡地の利活用関係など広域的な観点も必要であるため、隣接町村等と対話を持ちながら協議していく。

※弓道用語

・遠的は60m・近的は28m



築53年の弓道場

空き家対策及び物価高対策について



かとう ひろし
加藤 弘 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧いただけます。

空き家対策について

問 防災、衛生、景観等地域住民の生活に深刻な影響が出始めているが町の対策は。

町長

実態把握に努めながら、より実効性のある対策を検討し適切に取り組んでいく。



空き家の繁茂状況

問 空き家の状況及び、これまで町としてどのような空き家対策を行ってきたか。

総務課長

上地区256戸、免田地区234戸、岡原地区89

戸、須恵地区27戸、深田地区68戸、合計674戸。対策としては、住民の方から苦情あるいは相談等があった時に、所有者の方へ適正な管理をお願いする通知を発してきた。

問

平成26年に「空家対策特別措置法」が成立し、市町村は次のことが出来るようになった。

①実態調査

②所有者へ適切な管理の指導

③跡地についての活用促進

④「特定空家」を指定し助言、指導、勧告、命令

この法律に基づく町の対策は。

総務課長

法律に基づき「空家対策計画」を策定して、空き家に関する対策に取り組んでいる。

商工観光課長

空き家の活用促進については、地域おこし協力隊が業務に当たっている。

町長

「空家対策特別措置法」の周知が必要と感じている。実行ある対策を立てていかなければならないと感じた。

物価高対策について

問

国の物価高対策について、どのような受け取り方をされているか。

町長

国も物価高対策を最優先として第1の柱に掲げているので、本町も迅速かつ有効に活用できるように責任を持って取り組んでいかなければならないと思っています。

問

物価高騰対策の実施までのスケジュールについては。

企画政策課長

現時点では、不透明。

問

国の物価高対策に加えて、あさぎり町独自の物価高騰対策も必要ではないか。

企画政策課長

これまで、一般財源を活用しながら実施してきた経緯がある。今回においてもそういった形になるものと考えている。



その他の質問

- 空き家に関する税制措置について
- 物価高対策に対する財源について



町長及び町議会議員の同時選挙は

とよなが きいち
豊永 喜一 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧になれます。

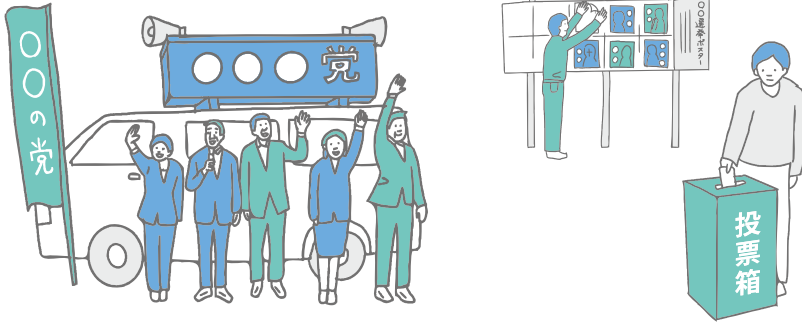


問

8月下旬に「あざぎり町の未来を考える会」より、2、146名の署名と共に同時選挙について、議会へ要望書が提出された。議会はこれを受けて、9月定例会で地方自治の未来を創る調査特別委員会へ付託し協議を始めている。議会の解散については、3つ（住民からの解散請求長による解散、自主解散）の方法があるが、いずれも責任が大きく、重い。同時選挙のメリットとして、経費削減、有権者の利便性向上と投票率の上昇が考えられる。一方でメリットとして、4年間の議員任期を途中放棄することへの批判、町長の途中辞職により同時選挙でなくなる可能性がある等言われている。このような事から同時選挙について町長の考えは。

町長

議会で特別委員会が設置され、協議が進められている。特別委員会の意見を尊重したい。



くま川鉄道の今後について



全線再開が待たれるくま川鉄道

問

令和7年10月24日、国土交通大臣は、くま川鉄道の鉄道事業再構築実施計画を認定した。この計画は、令和2年7月豪雨災害で被災し、部分運行が続く路線を持続可能な地域公共交通として再生させることを目指し、公有民営方式の「上下分離方式」で再建し、令和8年度上半期

町長

の全線運行再開が予定されている。この認定により、復旧・復興に向けた事業が本格的に始動するが、町の今後の対策等については。

令和2年7月被災後12月に特定大規模災害等鉄道施設災害復旧補助を活用。この制度を適用するためには、「上下分離方式」が必須条件となっていることから、令和3年3月、上下分離の基本事項について、県と地元10市町村で確認書を締結している。上下分離後の運用費用及び財源は基本的に現在の会社の事業を、2分割するので上下分離を要因として経費が増加することはないとされる。

商工業振興補助金の見直しと 街路灯の整備を



いわもと やすのり
岩本 恭典 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

商工業振興補助金の制度 改善について

問

商工業振興補助金は、創業や事業承継、事業継続・拡大を支える重要な制度である。これまでの申請件数や効果、また要綱第5条では「消耗品費・研修費は対象外」としながら別表では一部を認めており、条文の整合性に問題がある。事業者が誤解しないよう基準を明確にすべきではないか。

商工観光課長

この補助金は令和元年度から開始し、7年間で308件の申請、交付額は約6,478万円である。要綱の表記と運用に不整合がある点は認識しており、現在は個別に内容を確認して判断している。商工会からも要望書

が提出されており、次年度に向け要綱の見直しを検討している。

問

新規創業や事業承継で商工会加入を要件としているが、任意加入の公的団体への加入を補助条件とするのは公平性に疑問がある。また、補助上限50万円・1回限りの制度は、物価高騰や設備更新を考えると十分とは言えない。再申請やDX・人材育成分野への拡充は。

商工観光課長

商工会加入は、経営指導を通じ持続可能な事業を行ってもらう目的で設けている。上限額や再申請、DX分野への対応についても、他の補助制度とのバランスを踏まえ、次期改正時に検討したい。

街路灯の安全対策について

問

町内の街路灯は設置から36年以上経過し、倒壊のおそれや球切れによる暗所が発生している。安全確保のため、危険な街路灯は早期撤去や防犯灯への切り替えが必要ではないか。

町長

町内には118基の街路灯があり、老朽化は認識している。今後は現地確認を行い、危険箇所の撤去や必要に応じた防犯灯・防犯カメラ設置を計画的に進めていく。



暗くて危険な箇所がある学校周辺の街灯（昼夜比較）





あさぎり産米の活用について

みなごし
皆越 てる子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問 「あさぎり町産米を歌舞伎座で活用」と新聞・広報紙等に掲載された。農家との懇談や試食を経て使用を始めたという事であり、高橋取締役による歌舞伎座が題材の「国宝」がヒットした影響もあり、歌舞伎座内の飲食店利用は増加傾向である。町長も「町産米を売り出す千載一遇のチャンス。多くの方に食べてもらいたい」という事だが、町民・生産者・関東ふるさと会の声は聞こえたか。

商工観光課長

おいしい米が東京の真ん中で、お弁当として提供されているという事で、町の農産物にも興味を持っていただいた東京の企業もおられたようだ。

問 米以外の取り組みは。

商工観光課長

歌舞伎座で、物産販売会ができないかという打診もあるので、町内の事業所にも参加を呼び掛けて、販売できる商品のリストアップを図り、販売会に向けて取り組んでいく。



東京銀座にある歌舞伎座

問 歌舞伎座ご用達にあさぎり町産米が使用されている事を、関東ふるさと会に伝えていただければと思うが。

商工観光課長

所管課が企画政策課になつてはいるが、関東会の方にもPRしていく。



あさぎり町産ヒノヒカリを使用したお弁当

テレワーク施設について

問 ALOTの利用状況について。

企画政策課長

交流スペースが22件。コワーキングスペース・ミーティングルーム542件。

問 交流スペースは1時間1,200円となっている。利用人数については。

企画政策課長

人数については定めていない。時間当たりの単価

問 施設管理について、シルバー人材センターが令和7年度からという事だが。

企画政策課長

地域おこし協力隊に常駐的なことをしていたが、本格稼働となつており、受付業務等は地域おこし協力隊というよりもシルバー人材の方に委託をしている状況。



令和8年度の主要な政策の展開は



こまつ えいいち
小松 英一 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問

町長の強いリーダーシップによって、行政サービスを充実・発展させることを町民は待ち望んでいる。町長就任後3年を経過しようとしている町長の所感は。

町長

就任後、様々な事業に取り組んできたが、課題の複雑化や多様化を感じ、役場職員時代に経験したことがないような事業も経験してきた。そのようなことを一つずつ着実に解決していくことが、町政を舵取る上では大変重要な課題だと捉えている。公約に掲げている5つの政策の成果検証はできていないので、必要だと思っている。

問

1期目の任期が残り1年となる令和8年度で、どのような政策に取り組もうとしているのか。

町長

防災・減災対策のための避難所の空調設備の整備、水道施設の整備、小学校の大規模改修に備えるための学校施設整備基金の積み増し、文化財の修復や上総合運動公園テニスコートの整備等にも着手したいと考えている。



上総合運動公園テニスコート

中学校部活動の地域移行は

問

中学校部活動の地域移行は、概ね計画通りに進んでいるのか。

教育課長

現在15の部活動があり、そのうち柔道部と剣道部が、令和8年度から地域展開する協議を進めている。その他の部活動は、受け皿となる指導者の確保等が明確ではないため、めどが立っていない。

問

10年後のあさぎりは、1学年およそ80名3学年で240名程度になると見込まれる。このことを前提にした地域移行になると思うが、いかがか。

教育長

あさぎり中学校は、郡内において学校単独で大会に参加しているチームが多い中学校だが、複数の学校からクラブチームに参加して、中体連大会等に出場しているという現実もある。今後、部活動の地域展開は、人吉球磨全体で大きな組織として進めていく必要があると思っている。





新公会計改革について

こみた かずゆき
小見田 和行 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

現金主義の現在の公会計に、発生主義、複式簿記を採用した新公会計を加えることで、より財政の健全化が図られることから、国も推進しているが公会計改革の意義をどの様に考えているか。

町長

統一的な基準による公会計の整備は、現金主義会計では見えなかつた行政運営コストや、保有する資産、負債の全体像が見える事が可能となり、将来の展望に不可欠な財政基盤の強化のためにも、今後自治体運営に欠かせない取組みと認識している。しかし、国、県の状況が現状と変わらないうということ、非常に導入は遅れている。

問

あさぎり町においても、平成22年から令和5年まで、委託料を支出しながら新地方公会計制度に基づく財政書類の公表がされているが、これらはどの様に活用したのか。

財政課長

個別施設計画と公共施設総合管理計画の見直しを実施する際、固定資産台帳を活用している。



問

先進地では正確さを求めるため「日々仕訳」を実施している自治体もあるが、それらに向けた目途はあるか。

財政課長

90%の自治体は「一括仕訳」であり、全国的にもまだ業務委託による自治体が多いのが現実である。「日々仕訳」には専門的知識と専属スタッフが必要になるので、これから先の課題と捉えている。

問

まちづくり支援組織の構築について

問

地域課題の克服に向け、わが町既存の農業支援センター・あさぎり商社・特定地域づくり事業協同組合・シルバー人材センター・ALOT等を連携し、住民自治を支える支援組織の必要性を考えるが、これらの組織の今後の活用策は。

町長

ひとつの組織化は非常に課題があるが可能性をはかってみたい。



総務建設経済常任委員会

◆審査事件

令和7年9月8日付託

球磨川水系田頭川に架かる取水堰の改修に関する要望について

・審査の経過及び意見

令和7年12月1日 現地調査及び委員会を開催

農林振興課立ち合いのもと、現況及び今後の事業スケジュールの説明を受ける。委員会からの意見として、要望書の内容の通り施設の設定から相当数の年月を経過し、老朽化している状況を確認できた。今後の自然災害等に甚大な被災の恐れもある中で、早急に事業を進めてもらいたい等の意見がある。

要望に対して反対意見はなく、採択すべきとの結論となった。



田頭川取水堰

厚生文教常任委員会

9月17日

所管施設の雑草繁茂状況等の今後について

・学校施設及び周辺の状況の確認

・通学路危険箇所（改善されていない箇所）の現地視察等検討審議。

10月1日

第4期あさぎり町教育振興基本計画（案）の概要について説明を受けた。小学校規模に関し、児童数の推移をふまえて、今後の再編成計画についてや、具体的に編成案を示してから5年間のため危機感をもって取り組む必要があるとの意見があった。

学校別児童生徒数調べ（未就学児童）

③再来年度入学②来年度入学①本年度入学

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳 (R7入学)	合計
	R6.4.2~ R7.4.1	R5.4.2~ R6.4.1	R4.4.2~ R5.4.21	R3.4.2~ R4.4.1	R2.4.2~ R3.4.1	H31.4.2~ R2.4.1	H30.4.2~ H31.4.1	
上小学校	12	16	14	28	22	25	14	131
免田小学校	26	40	46	30	38	33	51	264
岡原小学校	5	9	10	9	17	17	12	79
須恵小学校	2	6	7	6	7	8	11	47
深田小学校	7	6	11	8	5	9	11	57
合計	52	77	88	81	89	92	99	578

12月1日

救護施設しらがね寮の民間移譲について

今後のスケジュールについて、令和8年は町営で運営。

◎譲渡価格の設定や譲渡内容についての検討。経営についてのシミュレーション。

人材不足の中での処遇改善・公募要項の見直し等の質疑があり、今後も基本は民間移譲として、スケジュール等しつかり出しながら進めていくよう意見があった。

人吉球磨広域行政組合議会

11月27日（木）

○ごみ処理手数料の改正

ごみ処理施設への持ち込み手数料

現行10キロ当たり100円から150円へ引き上げ

*近年の物価高騰による維持管理コストの増加等による。

○火葬料金

人吉・免田・水上の3斎場で異なっていた料金体系を統一

大人体使用区域15,000円

区域外45,000円

*改定後の料金は、現在の県内平均額に合わせて設定された。

常任委員会視察研修報告



令和7年11月10～11日に、議員のなり手不足対策、支所機能の業務委託等の内容等を目的に、県内の大津町、高森町の視察研修を実施した。

1. 大津町

①議員報酬額改正について

令和3年度の議員選挙は無投票であったことから、令和4年11月に議会活性化検討会議を設置し、「議員のなり手不足対策」「町民との接点」の視線で、①町民との接点（交流）②議員定数③議員報酬④政務活動費の4項目について検討。

令和5年9月に「議会活性化特別委員会」を設置し、議会活性化検討会議の答申を踏まえ、「特別委員会」として調査し結論を得る。

所感

- 大津町では約4年をかけて検討会議、特別委員会で、活動量調査、町民との意見交換会、町民への理解促進キャンペーンの実施などを経て令和6年12月に報酬増の条例可決がされている。本町でも、議員のなり手不足は大きな課題である。そのひとつが議員報酬の検討だが、これから、活動量調査等を始めに徐々に協議していきたい。



- ②議会BCP（大規模災害時に、議会の機能を維持し、住民ニーズを迅速に反映するための行動指針を策定）について平成28年4月14日、16日の熊本地震（震度5～6強）により6月定例会を8月に延期。会期は1日に短縮された。これを教訓に指針を定め、非常時でも議会を止めずに議会運営を継続可能となる。

所感

- 現在も、全国各地で災害が発生している。大津町議会では、策定後、町の防災訓練と併せて、訓練を実施している。当町でも、災害時の行動指針等を定める等、早急な対応が必要と感じた。



2. 高森町

①支所機能の郵便局への委託について

草部出張所の業務を草部郵便局、野尻出張所の業務を津留郵便局へ委託。業務内容は、証明書交付事務、証明書交付等事務以外の行政事務等ほとんど行う。

所感

- 令和7年4月から本格稼働されており、地域住民からも日頃慣れ親しんだ郵便局で、不便になったとの声は聞かないという事だった。経費も出張所の時よりも半分以下で収まっているとの事。ただ、高森町長も言われたが合併町村としなかった所は、事情も各々違いもあるので慎重に検討した方が良いと感じた。



（文責 豊永 喜一）

町村議会議長全国大会と産業行政視察



○ 11月12日 第69回町村議会議長全国大会 東京都 NHK ホール

総理大臣代理として尾崎内閣官房副長官、額賀衆議院議長、関口参議院議長、鈴木自民党幹事長他、多数の国会議員ご臨席のもと、議事として、地方の地域活力が減退していくなかであっても「町村の課題克服に向け、一致結束して果敢に行動していく」ことを宣言し、地方創生を切れ目なく強力に推進するように求める特別決議や、町村の安定的な財政運営に必要な地方交付税等の一般財源総額の増額確保・充実等を求める特別決議も全会一致で採択された。

○ 11月13日 産業行政視察

富山県南砺市「エコビレッジ構想及びSDGsモデル事業」について研修、「自立と循環で目指す、一流の田舎」というコンセプトのもと、再生可能エネルギーや、産業、福祉、教育分野まで幅広く事業を展開されており、あさぎり町にも参考になる事例も多くあった研修であった。



表敬訪問

12月22日 金子国土交通省大臣表敬訪問

議員との意見交換会

お申込みはこちらまで

氏名、連絡先、内容等の必要事項を下記のいずれかの方法で連絡をお願いします。

■ 電話

議会事務局 47-0312 (直通)

■ お問い合わせフォーム

地方自治の未来を創る
調査特別委員会



■ 議会だよりについて

アンケートをお願いします。



ありがとうございました!



商工会女性部から綺麗なお花を頂きました。

11月～1月活動内容一覧

月 日	行 事 名	参 加 者	
11月	3日	令和7年度第19回白髪神社奉納少年剣道(上)	議長
	4日	議員懇談会・全員協議会、公共施設マネジメント調査特別委員会、総務建設経済常任委員会	議員
	6日	熊本県町村議会広報クリニック研究会(熊本県自治会館)	広報調査特別委員
	8日	令和7年度人吉球磨地域植樹祭(千望展望所 他)	議長
	10日～11日	常任委員会研修(大津町、高森町)	議員
	12日～14日	第69回議長全国大会、産業行政視察(東京都 他)	議長
	15日	多良木町合併70周年記念式典(多良木町) 第18回あさぎり町福祉まつり(須恵文化ホール)	議長 副議長
	18日	上球磨正副議長会、椎葉村・西米良村との交流会(湯前町)	正副議長
	21日	全員協議会	議員
	26日	第2回畜産振興ふれあい祭り(錦町)、郡定例議長会(人吉市)	議長 他
	29日	水上村村政施行130周年記念式典(水上村)、村道松本大坂間線松本橋完成式(球磨村)	議長
12月	1日	常任委員会、議員懇談会・全員協議会 第6回地方自治の未来を創る調査特別委員会	議員
	2日	議会運営委員会	議会運営委員
	5日	総務建設経済常任委員会、全員協議会	議員
	7日	第26回球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会(須恵文化ホール)	議長
	9日	議会運営委員会、全員協議会	議員
	9日～12日	12月定例会	議員
	11日	厚生文教常任委員会、連合審査会	議員
	12日	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	19日	第12回中学生議会	議員
	22日～23日	金子国土交通大臣表敬訪問(要望書提出)他(東京都)	議員
24日	第7回地方自治の未来を創る調査特別委員会 定例郡議長会及び正副議長・議会事務局合同会議(人吉市)	議員 正副議長	
1月	4日	令和8年あさぎり町二十歳の成人式(須恵文化ホール)	議員
	5日	議員懇談会・全員協議会、公共施設マネジメント調査特別委員会	議員
	8日	広報調査特別委員会、令和8年あさぎり町産業活性化協議会「新春の集い」(ポップー館)	議員
	11日	あさぎり町消防団出初式(向町河川公園)	議員
	13日	議会運営委員会、全員協議会	議員
	14日	認定農業者協議会とあさぎり町議会と農業委員との合同勉強会(町内飲食店)	議員
	15日	第7回会議、第8回地方自治の未来を創る調査特別委員会、広報調査特別委員会	議員
	18日	令和8年度上球磨消防団連合会放水競技大会(多良木町)	議長
	19日	定例郡議長会(錦町)	議長
	20日	総務建設経済常任委員会、熊本県町村議会議員研修(オンライン)	議員
27日	広報調査特別委員会	正副委員長	

聞かせて
町民の声

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

重さとは

須恵（寺池）**鎌田 知樹**さん

私の趣味はランニング、サイクリング、ソロツーリング。これらの趣味は私と私に付随する自転車やバイク、車等の道具という重量ある物体が空間を移動する現象を嗜んでいると解釈できる。これらの重さもしくは速さが大きくなるに従って物理的にはエネルギーが大きくなるが、社会的には責任が大きくなる。

近年は軽自動車でも重さは1000キロ弱だ。1000キロの物体が高速でなくとも何かにぶつかると大きな破壊力になるのは想像に難くない。

私の長女は今年小学4年となり家から小学校への全行程を歩いて登校できるようになった。彼女は小学生が車から見え辛い事を理解しておりこれまで歩いて登校することに不安があった。しかし近所の年上・年下の登校班の子どもたちの支えが有ってその心配を乗り越えることが出来たのだ。彼女らが集まって登校することのなんと尊いことか。



ランナーズハイな私

町には登校ルート of 安全確保に今一度目を向けて欲しい。車通りが多い割に歩道整備が行き届いていない、横断歩道の見通しが悪い、そのような箇所は子どもたちの注意力に甘えずこちらで整えてあげるのも大人の社会的責任のはずだ。

また行政に求めるだけでなく、まず私自身も車を運転するという社会的責任の重さをしっかりと心に刻み、一層気を引き締め子どもたちの登校最優先での安全運転を遵守していきたい。同時に少しでも物理的エネルギーを小さくする為ダイエットに励もうと思う。

編集後記



「丙午だから生み控える」はもう古い今年、60年に一度巡ってくる「丙午」の年です。「丙午の女性」は気が強い。そんな迷信から1966年の丙午では、出生数が大きく落ち込みました。丙午にまつわる迷信は、今から約360年前、江戸時代の初期から語り継がれてきたといいますが、令和の時代は、無意識の「マタハラ」が、新年度から、国民挙げて「子ども・子育て世帯を応援！」とし、子ども・子育て支援金制度がスタートします。私たちが議員一同、一人でも多くの子どもが誕生しますようにと願う、子育てしやすい、住んでよかったと言っていただけの街づくりに全力で取り組んでまいります。

(溝口 峰男)



- 編集発行者** 小見田 和行
- 議長** 小見田 和行
- 広報調査特別委員会**
- 委員長 森岡 勉
 - 副委員長 加賀山 瑞津子
 - 委員 難波 文美
 - 委員 豊永 喜一
 - 委員 山口 和幸
 - 委員 溝口 峰男

※本紙内容の無断複写および SNS 等への投稿、掲載は一切禁止します。
★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。